

景気動向指数
平成 24 年 7 月分（速報）の概要

7月のC I（速報値・平成 17 年=100）は、先行指数：91.8、一致指数：92.8、遅行指数：86.3 となった。（注）

先行指数は、前月と比較して1.4ポイント下降し、4ヶ月連続の下降となった。3ヶ月後方移動平均は1.27ポイント下降し、3ヶ月連続の下降、7ヶ月後方移動平均は0.23ポイント下降し、2ヶ月連続の下降となった。

一致指数は、前月と比較して1.3ポイント下降し、4ヶ月連続の下降となった。3ヶ月後方移動平均は1.40ポイント下降し、2ヶ月連続の下降、7ヶ月後方移動平均は0.26ポイント下降し、10ヶ月振りの下降となった。

遅行指数は、前月と比較して0.3ポイント下降し、3ヶ月振りの下降となった。3ヶ月後方移動平均は0.10ポイント上昇し、12ヶ月連続の上昇、7ヶ月後方移動平均は0.16ポイント上昇し、27ヶ月連続の上昇となった。

一致指数の基調判断

景気動向指数（C I一致指数）は、足踏みを示している。

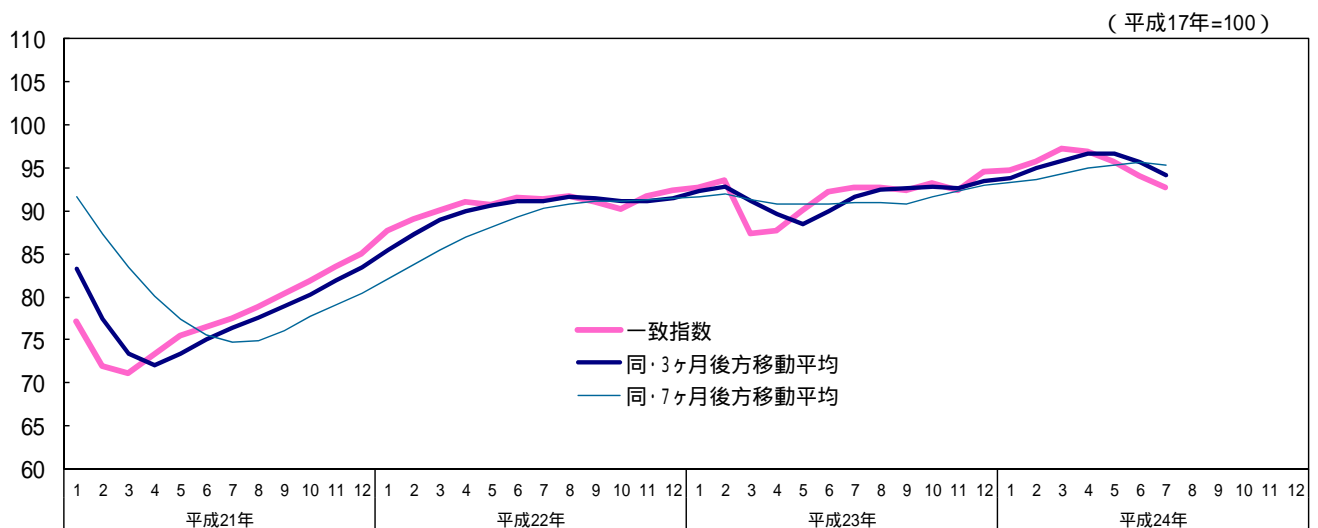
一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度は以下の通り。

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C11：有効求人倍率(除学卒)	0.13	C5：所定外労働時間指数(調査産業計)	-0.39
		C2：鉱工業生産財出荷指数	-0.30
		C10：中小企業出荷指数(製造業)	-0.18
		C3：大口電力使用量	-0.13
		C1：生産指数(鉱工業)	-0.12
		C6：投資財出荷指数(除輸送機械)	-0.10
		C7：商業販売額(小売業)(前年同月比)	-0.08
		C4：耐久消費財出荷指数	-0.05
		C8：商業販売額(卸売業)(前年同月比)	-0.01
		C9：営業利益(全産業)	-0.05

「C9 営業利益」は現時点では算出に含まれていないため、トレンド成分を通じた寄与のみとなる。

なお、各個別系列のウェイトは均等である。

一致指数の推移



（注）現時点で得られる値のみで求めた。